



櫛紅葉 (はぜもみじ)

発行：令和6年11月5日（火）（文責） 校長 田中 克三



※学校ホームページでもご覧になれます。QRコードはこちら→

その個性の彩りは これからが実はスタート

R6.10.25 文化発表会



10月25日（金）に令和6年度の文化発表会を開催しました。前号で紹介したとおり、今年のスローガンは「彩（いろどる） ～ 今を描くみんなの個性 ～」ということで、まさに生徒一人一人の個性がそれぞれの表現方法で作品に彩りを加え、学年が上がるごとに成長が感じられる素晴らしい文化発表会でした。期間中、仲間と協力し、最後まで手を抜くことなくやり遂げた経験は、ここで終わりではありません。自分が発揮した個性も仲間と分かち合った達成感もこれからそれをどう生かすかが大切であり、今がスタートなのかもしれません。



1年生発表「colorful」

1年生らしい明るく元気な演出で朗読、英語劇、ダンスなど見ている側を笑顔にするようなパワフルなステージでした。日常的な私たちの感情を色で表現したカラーモンスターが登場。それぞれの感情とどのように向き合えばよいか考えさせられました。



2年生発表「女傑症候群（ヒロインソンドローム）」

中学生の日常に潜む悲しみの原因「ルサンチマン」を退治できるか…。友だちの真の役目とは…。自分だけでなく他者を認めることやそれぞれの個性を尊重することの大切さに気付かされた2年生の演技力に感心させられました。



3年生発表「マイ ライフ」

思春期を迎え、自分はどんなタイプの人間で、どう生きていくべきか…。「型」を決めて生きていくよう勧めるライフナビゲーターにあらがって「自分型」として進化していくことを見つけていく生徒たち…。演じた3年生の将来はいかに…楽しみです！

吹奏楽部演奏

1・2年生主体となった新メンバーで楽曲演奏だけでなく、ミステリー仕立ての寸劇にも挑戦。はじけるプラスパワーで彩りを添えてくれました。



各種展示発表

2年生の職場体験のまとめや各教科の活動での作品などズラリと展示。生徒個人の個性や考えを表現した作品や見る側、使う側を意識した作品も。



【保護者対象の Web アンケートから】

恥ずかしさが先に立ちそうな年頃の子どもたちが、一生懸命に演じる姿を見て、友達の頑張りを茶化すことなく認められるいい雰囲気の学校なんだと感じた。

子どもたちが自由に考えてそれを表現している姿が垣間見られてとても面白かった。どのステージもすごくよかった。

ステージ発表は、大人も考えさせられる内容で、一人一人の表現力の高さに驚かされました。ありがとうございました。

科学的実験や研究など大人とまた違う感性でいろんな面からの発見や「何だろう？」と思うことを各自で調べてリストアップしているのが素晴らしいと感じた。

去年も見に来ましたが、一年でこんなに変わるのかとびっくりするぐらい堂々と楽しそうでした。

全体的によくまとまっていて、感動しました。同時にとても懐かしく感じました。来年も楽しみにしています。

姿勢よく歌っている生徒が輝いていた。

クラスによって曲のテイストもそれぞれ違ったので、楽しませてもらいました。

真剣に取り組む姿に感動しました。順位をつけるのがもったいないくらい素敵でした。

さすが3年生でした。声変りを迎えた男子の低音パートと女子とのハーモニーが良かったです。

響け！ハーモニー、心一つに ～令和6年度 合唱コンクール～

文化発表会の締めくくりは今年も合唱コンクール。取組期間の前から主に音楽の授業において、実行委員、指揮者、伴奏者中心に少しずつハーモニーを仕上げてきました。本番の歌声は少し緊張気味ではありましたが、どのクラスも曲想に合わせて強弱をつけて歌ったり、パートごとの声のバランスを考えたりしながら美しいハーモニーを響かせてくれました。

今年が目玉は大トリに実施した3年生の全員合唱。「さすが、3年生」という迫力でコンクールを見事に締めくくってくれました。ステージ上での統一感のある振る舞いや、歌い終えた後の達成感に満ちた表情はいつ見てもいいものですね。



審査の結果は以下のとおりです。偶然なのか、昨年度と曲目が全く同じです。来年度もこの曲で金賞をねらうのか、違う曲に挑戦して頂点を目指すのか、今から楽しみです。

【R6合唱コンクール 審査結果一覧】

最優秀賞	3年2組：「忘れることなんかできない」
2年金賞	2年2組：「大切なもの」
1年金賞	1年2組：「unlimited (アンリミテッド)」
指揮者賞	小林音葉 (3年1組)
伴奏者賞	西山文香 (3年1組)
	松本悠愛 (3年2組)



なーか&しーか

～10/4 生徒会ゆるキャラ決定！～

少し紹介が遅くなりましたが、10月4日(金)の生徒朝会で、中原中生徒会の「ゆるキャラ」が発表されました。その名も『なーか&しーか』(右絵)。



全校生徒から公募して集まった候補「ゆるキャラ」の中から投票で選ばれました。中原中の校章に描かれている鹿の角からイメージし、思いやりと協調性を大切にしていきたいという願いが込められています。

この日は、これまで生徒会を引っ張ってきた3年生役員が進行する最後の生徒朝会でした。全校生徒が仲良くエンジョイできる中学校であってほしいと活動してきた3年生の思いを表現した素晴らしいキャラクターが誕生したと思います。



【堤会長から発表されるゆるキャラ】

託されたバトンを次のステージへ ～10/17 生徒会新役員任命式～

10月17日(木)、この日の全校朝会は「生徒会新役員任命式」でした。9月26日(木)に行われた生徒会長選挙とその後の役員選出を受け、新しく本校生徒会のリーダーとなった2年生13名一人一人に任命書を手渡しました。



心を動かされたのはそれぞれ呼名をされたときの返事が素晴らしかったことです。これから1年間、中原中を引っ張っていくというやる気と覚悟を感じました。

その日の放課後には、「生徒会新旧引き継ぎ会」が実施され、3年生役員から引き継ぐべき具体的な活動内容や企画・運営のノウハウが伝えられました。この日先輩から託されたバトンを胸に、今の時代や生徒のニーズに合わせた中身の濃い活動にステップアップして行ってほしいと思います。



中学校とは、大人の準備をするところ ～10/31 中学校説明会～

10月31日(木)、中原小学校の6年生とその保護者をお迎えして「中学校説明会」を実施しました。

次年度中学生となる6年生の子どもたち及び保護者に、中学校からの基本的な情報提供と授業の様子を見ていただくことで、少しでも入学後の生活に対する不安や疑問が和らげばというのが目的です。

元気いっぱいの6年生とその保護者の関心は高く、生徒会が作成した学校紹介ビデオの視聴や実際の授業参観では前のめりになるくらい興味深く見聞きしておられました。



私からは、「中学校とは、ずばり大人になる準備をするところ。必要な知識や力を身につけ、それが役立つか失敗を恐れず試してみよう。何を学び、どんな力を身につけ、それを生かしてどんな大人になっていくか、可能性は無限大です。」とエールを贈りました。